

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	高齢者総合生活支援施設 あい・いからしの郷 新潟市西区上新栄町三丁目5827番41 他 市街化区域、防火地域指定なし 病院, 2018年2月 竣工 2,772.77 m ² 827.72 m ² 2,072.21 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.3}{42.0} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	2.9		バリアフリー計画	3.0
			維持管理	3.0
			設備の更新性	2.8
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.9		耐震・免震・制震・制振	3.0
			信頼性	2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.5		建物外皮の熱負荷抑制	5.0
			自然エネルギー利用	4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.5		まちなみ・景観への配慮	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

節水機能を備えた設備と採用し、又省エネルギー性を高い建物となるように配慮する。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	高齢者総合生活支援施設 あい・いからしの郷	階数	地上3F
建設地	新潟市西区上新栄町三丁目5827番41 他	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火地域指定なし	平均居住人員	102 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 竣工	評価の実施日	
敷地面積	2,773 m ²	作成者	神田 陸
建築面積	828 m ²	確認日	
延床面積	2,072 m ²	確認者	神田 陸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギー性を高め、温熱環境負荷の低減を図る。	その他 特になし
Q1 室内環境	利用者の室内環境向上のため、F☆☆☆☆内装材の採用及び全面禁煙を計画する。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	省エネルギー基準をクリアする外皮性能・省エネ設備を採用する。	LR3 敷地外環境 建物の省エネ性能を高くし、CO ₂ 排出率の低減に努める。
Q2 サービス性能	設備配管は耐用年数の高い材質とする。	
LR2 資源・マテリアル	節水機能を備えた設備を採用する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される